

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神戸学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウベガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F128310108730
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	兵庫県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅳ、キャリアトレーニングⅡ
	学部・研究科等名	法学部、経済学部、経営学部、人文学部、現代社会学部
	担当教職員名・役職	教授：中村恵（現代社会学部）、林坂巧一郎（経営学部）、石本真八（経済学部） 准教授：小川一茂（法学部）、福井直人（経営学部）、北村 厚（人文学部）
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	29
	受入企業等数	20
	受入企業等名	株式会社クレ・ドゥ・レーブ 株式会社学情 株式会社神戸マツダ 神戸市西区役所 楽天ヴィッセル神戸株式会社 株式会社カースキャリアセンター 株式会社マルハチ 大阪シティ信用金庫 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 東京コンピュータサービス株式会社 アイナックフットボールクラブ株式会社 OCI株式会社 尼崎信用金庫 生活協同組合コープこうべ 株式会社ホンダカーズ兵庫 但陽信用金庫 山野印刷株式会社 株式会社ワークアカデミー 特定非営利活動法人エフエムわいわい 株式会社 北神社 ※実習参加企業のみ記載（受入可能だがコロナで中止、学生応募がなかった企業は除いています）
	インターンシップの分類	
		6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ
		9.中小企業でのインターンシップ
		10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細		

要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
		大学 学部3年
		大学 学部4年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	学部により年次は異なる。 法学部2年～4年、経済学部2年～3年、経営学部3年、人文学部3年～4年、現代社会学部3年～4年	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	参加する学生を一同に集め、事前研修を一日6時間程度実施している。担当する講師は外部に委託を行い、内容は、マナー研修、インターンシップの意義、目標設定など多岐にわたる。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	参加する学生を一同に集め、事後研修を一日6時間程度実施している。担当する講師は外部に委託を行い、内容は、課題達成度合いの確認、成果報告、情報共有、今後の就活への活かし方など多岐にわたる。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入先が学生に対して、総合評価、項目別評価について、SABCDの評価を行う。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	項目別評価（基本的礼儀、研修意欲、実習内容（事例ごとに））についての評価及びそれらを踏まえた総合評価を実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	3日以上かつ21時間以上の実習及び事前研修1日、事後研修1日の参加を必須としている。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細		
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.kobegakuin.ac.jp/company/syllabus/syllabus.html
問い合わせ先	大学等名	神戸学院大学
	担当部署名	キャリア支援グループ
	担当者役職名	
	担当者氏名	森田 孝平
	電話番号	078-974-4588
	メールアドレス	career@j.kobegakuin.ac.jp